

## 2022年度事業計画

### 公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

#### No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948年（昭和23年）から73年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。2013年より時代のニーズに合ったテキスト作成に取り組み、「たのしい作曲法」が文部科学省生涯学習局一般社会人通信教育の認可がなされた。2015年度は文部科学省より通信教育規則改正につき、認定社会通信教育講座の修了試験実施要請に伴い修了課題を作成した。

「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けて、理事の松尾祐孝氏を中心に本通信教育添削員の佐藤旬氏・首藤健太郎氏・星出和宏氏とともにテキスト及びワークブック改訂案を制作、2021年8月30日に文部科学省生涯学習局へ改訂案を提出した。現在審査中。今後、修正等の手続きを行う。

#### No. 2 「楽譜検定」

楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

2013年7月から試験システム（無料グレード 10～8級）を運営し、2020年2月までおおよそ3,000名が楽譜検定に取り組んできた。それと同時に有料グレードに向けた課金制によるシステム開発費及び運営費の捻出など議論してきたが、近年ソーシャルネットワーク普及による社会環境の変化や無料アプリケーションソフトの充実と利便性が進む昨今、時代のニーズにあった検定そのものの在り方と必要性を再度検討するため、No. 2 「楽譜検定」を休止とする。

### 公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

#### No. 3 「日本管打楽器コンクール」

このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞受賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

「2022年度 第37回日本管打楽器コンクール」

実施楽器部門：オーボエ・サクソフーン・パーカッション・マリンバ

○オーボエ部門 会場：尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷4-15-9）

（第一次予選・第二次予選・本選：バリオホール）

第一次予選 2022年08月08日（月）～09日（火） 9：00～

第二次予選 2022年08月11日（木祝） 9：00～

本選 2022年08月12日（金） 13：00～

○サクソフーン部門 会場：尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷4-15-9）

（第一次予選・第二次予選・本選：バリオホール）

第一次予選 2022年08月22日（月）～24日（水） 9：00～

第二次予選 2022年08月25日（木）～26日（金） 9：00～

本選 2022年08月27日（土） 13：00～

○パーカッション部門 会場：武蔵野音楽大学 江古田キャンパス（東京都練馬区羽沢1-13-1）

（第一次予選・第二次予選・本選：ブラームスホール）

第一次予選 2022年08月15日（月）～16日（火） 9：00～

第二次予選 2022年08月18日（木） 9：00～

本選 2022年08月20日（土） 13：00～

○マリンバ部門 会場：東京音楽大学 池袋キャンパス（東京都豊島区南池袋3-4-5）

（第一次予選・第二次予選・本選：100周年記念ホール）

第一次予選 2022年08月22日（月）～23日（火） 9：00～

第二次予選 2022年08月25日（木） 9：00～

本選 2022年08月27日（土） 13：00～

○特別大賞演奏会及び表彰式

日時 2022年08月31日（水） 17：00～

会場 かつしかシンフォニーヒルズ（東京都葛飾区立石6-33-1）

□運営役員一覧（予定）

|          |        |                             |
|----------|--------|-----------------------------|
| 運営委員長    | 尾高 忠明  | （NHK交響楽団正指揮者）               |
| 運営副委員長   | 青木 明   | （名古屋芸術大学名誉教授）               |
|          | 桑原 浩   | （公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）      |
|          | 松尾 祐孝  | （本財団理事／特定非営利活動法人日本現代音楽協会理事） |
| 運営実行委員長  | 石渡 悠史  | （本財団理事／一般社団法人日本サクソフーン協会会長）  |
| 運営実行副委員長 | 井上 順平  | （日本トロンボーン協会顧問）              |
| 運営委員     | 辻 功    | （オーボエ部門審査委員長／日本オーボエ協会理事長）   |
|          | 須川 展也  | （サクソフーン部門審査委員長／東京藝術大学招聘教授）  |
|          | 吉原 すみれ | （パーカッション部門審査委員長／武蔵野音楽大学教授）  |
|          | 菅原 淳   | （マリンバ部門審査委員長／東京音楽大学客員教授）    |
| 運営事務局長   | 尾上 将己  | （本財団常務理事）                   |

□後援（予定）

内閣府、文部科学省、外務省、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、文京区、文京区教育委員会、豊島区、豊島区教育委員会、練馬区、練馬区教育委員会、葛飾区、葛飾区教育委員会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、他

□特別協力（予定）

東京藝術大学、武蔵野音楽大学、東京音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

□協力（予定）

日本オーボエ協会、一般社団法人日本サクソフーン協会、日本マリimba協会

□協賛企業（予定）

株式会社図書出版、きらぼし銀行春日町支店、株式会社ヤマハミュージックジャパン、野中貿易株式会社、株式会社グローバル、株式会社ダク、株式会社ビュッフェ・クランポン・ジャパン、日本ダブルリード株式会社、株式会社ドルチェ楽器、株式会社セントラル楽器、株式会社プリマ楽器、柳澤管楽器株式会社、パール楽器製造株式会社、株式会社コマキ楽器、株式会社石森管楽器、株式会社フォトライフ、他

□協賛大学（予定）

京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、東邦音楽大学、尚美学園大学、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、他

**※2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を中止し、2022年度へ順延とした。引き続き、2022年度も実施の有無及び実施の場合（開催方法）については新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び政府・自治体の要請等状況を鑑みて判断する。**

#### No. 4 「日本管楽合奏コンテスト」

管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ①「独自のサウンド」の研究を行う。
- ②管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

「2022年度 第28回日本管楽合奏コンテスト」

予選審査会 2022年09月26日（月）～09月30日（金）＜非公開＞

（予定） 会場：学校法人尚美学園 教室（東京都文京区本郷4-15-9）

全国大会 2022年10月29日（土） 中学校B部門

（予定） 2022年10月30日（日） 高等学校B部門

2022年11月03日（木祝）小学校部門

2022年11月05日（土） 中学校A部門

2022年11月06日（日） 高等学校A部門

会場：松戸森のホール21大ホール（千葉県松戸市千駄堀646-4）

2022年11月13日（日） 中学校S部門・高等学校S部門

会場：尚美バリオホール（東京都文京区本郷4-15-9）

□運営役員一覧（予定）

大会顧問 煙山 力（元文京区長／社会福祉法人文京区社会福祉協議会会長）  
大会会長 赤松 昌代（本財団理事長）  
大会副会長 小澤 俊朗（本財団理事／一般社団法人日本管打・吹奏楽学会理事長）  
運営委員長 石田 修一（本財団理事／柏市教育委員会学校教育参事）  
運営副委員長 後藤 洋（作曲家／一般社団法人日本管打・吹奏楽学会理事）  
運営事務局長 尾上 将己（本財団常務理事）

□共催（予定）

公益財団法人松戸市文化振興財団、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

□後援（予定）

内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、松戸市、松戸市教育委員会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、他

□特別協力（予定）

尚美ミュージックカレッジ専門学校

□協賛（予定）

株式会社図書出版、株式会社音楽之友社、株式会社フォトライフ、ブレン株式会社、株式会社ヤマミュージックジャパン、株式会社エムアイセブンジャパン、株式会社ジェネレックジャパン、昭和音楽大学、株式会社JTB、他

※2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全国大会を会場での公開審査から動画審査及び動画配信へ変更して実施した。引き続き、2022年度も実施の有無及び実施の場合（開催方法）については新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び政府・自治体の要請等状況を鑑みて判断する。

## No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

「2022年度 第25回日本ジュニア管打楽器コンクール」

開催部門 ソロ部門（12楽器）／アンサンブル部門（木管の部・金管の部・打楽器の部）

各コース 小学生コース／中学生コース／高校生コース

実施楽器 フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリンバ

演奏曲目 予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間 ソロ部門：小・中学生コース 5分以内。高校生コース 6分以内。

アンサンブル部門：小・中・高校生コース 5分以内。

受付開始 2023年01月06日（金）～01月27日（金）（予定）

予選考会 2023年02月11日（土）～02月12日（日）＜非公開＞（予定）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（各教室）

本選考会 2023年03月20日（月）～03月25日（土）（予定）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

□運営役員（予定）

運営委員長 石渡 悠史（本財団理事／一般社団法人日本サクソフーン協会会長）

運営副委員長 井上 順平（日本トロンボーン協会顧問）

運営事務局長 尾上 将己（本財団常務理事）

□後援（予定）

内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、熊本県吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都小学校吹奏楽連盟、他

□特別協力 尚美ミュージックカレッジ専門学校

□協 力（予定）

一般社団法人日本フルート協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット（バスーン）協会、一般社団法人日本サクソフーン協会、日本ホルン協会、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本マリンバ協会、他

□協 賛（予定）

株式会社図書出版、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、株式会社JTB、尚美学園大学、昭和音楽大学、他

**※2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により本選考会を会場での公開審査から音源審査へ変更して実施した。引き続き、2022年度も実施の有無及び実施の場合（開催方法）については新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び政府・自治体の要請等状況を鑑みて判断する。**

## No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。

そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実

際的な方法で、優れたクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンクールの企画化を目指し、今までに在るようであった…、こんなクリエイター発掘コンテストが欲しかった…、というコンテストを開催します。

これまで第1回（2013年）から第7回（2019年）までサウンドクリエイターによる作曲コンテストを開催してきたが、近年のソーシャルネットワークやYouTubeなど不特定多数に費用も掛からず手軽に周知出来るアプリケーションソフトの出現により、「制作から不特定多数に周知」そのものが誰でも簡単に出来るようになった。（ユーチューバーなど代表的な例）

そのような中、本コンテストにおける応募作品数の向上及び運営費用捻出など議論してきたが、時代のニーズに即した作曲コンテストそのものの在り方と必要性を再度検討するため、No. 6「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を休止とする。

### 公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

#### No. 7「全日本市民バンドフェスティバル」

全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会・交流会を行う。

「2022年度 第13回全日本市民バンドフェスティバル」

内 容 音楽のジャンルは問わない。小編成から、大編成40名位まで。演奏曲目は自由とし、演奏時間は20分とする。（入退場含む）バンドの形態としては、小学生バンド、中学校吹奏楽部、高校吹奏楽部、一般バンド、ママさんバンド、シニアバンド、障害者と健常者のバンド、ジャズバンド、他

日 時 2022年12月18日（日）13:00～18:00（予定）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

共 催 一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

特別協力 尚美ミュージックカレッジ専門学校

協 賛 株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、株式会社JTB、他

※2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を中止した。引き続き、2022年度も実施の有無及び実施の場合（開催方法）については新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び政府・自治体の要請等状況を鑑みて判断する。

#### No. 8「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

（略称：イムスタInternational Music Software Trade Association）

違法コピーが蔓延している昨今、2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。

① Facebookでの普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

啓蒙活動予定：イベントプロモーションを行う。

②広報活動。

IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及びWEBへの掲載。

<http://www.imsta.org/japan/index.php>

③ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。

④店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。

公益財団法人日本音楽教育文化振興会 IMSTA委員会

委員長 村上 昇 (株式会社インターネット)

副委員長 村井 清二 (株式会社エムアイセブンジャパン)

副委員長 伊藤 博之 (クリプトン・フューチャー・メディア株式会社)

IMSTA FESTA

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、2022年度はIMSTA FESTAの開催を休止する。

IMSTA FESTA 運営委員会

村上 昇 (株式会社インターネット)

田村 示音 (IK Multimedia日本支部)

多良間 孝紀 (株式会社銀座十字屋)

小池 太郎 (株式会社エムアイセブンジャパン)